

当社グループと社会が持続的に成長し続けるために、サステナビリティ推進体制を構築し課題を推進しています。

サステナビリティ推進委員会

急速な技術進歩や情報社会の変化、気候変動をはじめとする環境問題など、さまざまな問題に対応していくことが当社グループに課せられた課題です。当社グループが持続的に成長するためには、長期的な視点で課題を設定・実行していく必要があります。

このような背景のなか、当社グループでは「働きやすい、明るい会社」の実現のため、サステナブルに成長し、企業価値を生み出し続けることを目的として、2024年1月にサステナビリティ推進委員会を発足しました。

ニチアスにとって2024年は サステナビリティ元年



サステナビリティを経営に連動させることで
企業価値に厚みを持たせ、成長への原動力となっていく

サステナビリティ推進委員会では、持続的成長に向けて当社グループが対面するさまざまな課題を設定し、施策を進めています。

サステナビリティ推進委員会を支える5つの部会

サステナビリティ推進委員会では、環境部会、社会・人事部会、(コーポレート)ガバナンス部会、デジタル部会、ストラテジー部会の5つの部会が、それぞれの専門性を持って具体的な課題を設定し、それを遂行しています。

各部会の頭文字をとって、当社グループのサステナビリティへの取り組みについては、ESGiD(Digital= デジタル)、S (Strategy=ストラテジー)を加え、グループ全体でESGD'sとして推進する仕組みを構築しています。



環境部会では、主にカーボンニュートラル達成に向けたGHG排出量削減など気候変動への対策について、またサーキュラーエコノミー（循環経済）への対策や水資源・生物多様性の保全など、その他さまざまな環境問題についても課題を設定し、それを遂行しています。

社会・人事部会では、人材戦略や働き方の多様性、健康経営の推進などについて討議を行い、社会と調和の取れた人事体制を目指して課題を進めています。

(コーポレート)ガバナンス部会では、取締役会の実効性や評価方法の見直し、BCPへの対応や情報セキュリティに関するリスク対応など、主にグループの基盤となる(コーポレート)ガバナンスについて討議を行っています。また、当部会では当社にとって非常に重要なコンプライアンスについても、海外グループ会社を含め順守徹底する仕組みづくりを進めています。

デジタル部会では、昨今の急速なデジタル化に対応できるよう、将来を見据えながら戦略的にAI化やIoT化などの課題を設定し討議を進めています。

ストラテジー部会では、サステナビリティ方針の策定や、当社グループのマテリアリティの特定、また他の4部会が円滑に運営できるような仕組みづくりについて課題を進めています。

サステナビリティ推進委員会のもと、さまざまな課題を解決し、当社グループと社会が持続的に成長し続けるために、サステナブル経営の実現に向け邁進していきます。